

伊豆における観光型MaaS実証実験(Izuko Phase3)

観光客数の増加を図るため、交通機関や観光施設等をスマートフォンで検索・予約・決済できるサービス「Izuko」を提供することで公共交通の利便性を向上する。更に過去2回の実証実験を踏まえ、新規顧客の誘客を図るため、特に20～30代の女性グループの宿泊観光創出に主眼を置いた観光商品・サービスを提供する。

協議会の構成員	東急(株)、(一社)美しい伊豆創造センター、東日本旅客鉄道(株)、楽天(株)、東日本旅客鉄道(株)横浜支社、東海自動車(株)、伊豆箱根鉄道(株)、伊豆箱根バス(株)、(株)伊豆クルーズ、(一社)ふじさん駿河湾フェリー、静岡鉄道(株)、(一社)伊豆半島創造研究所、静岡県タクシー協会、伊豆急ホールディングス(株)		取組イメージ	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光地としての若年層の認知の不足等による観光客数の低迷 ● 利用者の減少や運転手の高齢化等による交通事業者の廃業等による公共交通の利便性の低下 		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>MaaSを通じて提供しているサービス</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>くろふね号・いずきゅん号</p> <p>Izukoで購入可能な観光商品 例</p> </div> </div>	
取組の概要	期間	2020年11月16日～2021年3月31日	検証結果	
エリア	静岡県伊豆半島全域（一部、富士山静岡空港から伊豆半島までのバス、鉄道、フェリーを含む）		<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の44%が「Izuko」により新たな観光地に行けた」と回答。高い周遊効果を確認 ● 利用者の11%が「Izuko」がなければ伊豆に来なかった」と回答。首都圏でのプロモーションが十分に実施できなかった中ではあったが、一定の誘客効果を確認 ● 利用者の84%が「サービスに満足」と回答。目標の80%を上回り、高い評価を獲得 ● 宿泊施設と駅・観光地間の利用はオンデマンド交通利用全体の12%。一定の需要を確認 ● 利用データ管理画面の提供および協議会での事例紹介を通じてデータ活用機会を増やすことにより、効果的なプロモーションと定量的な効果測定に貢献 	
MaaSシステム	MaaS Webサイト「Izuko」を独自に構築		今後の方向性	
交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 複合経路検索(外部サイトへの遷移)機能の提供 ● オンデマンド交通「くろふね号」の運行、自動運転のオンデマンド交通「いずきゅん号」の実証運行の予約連携 ● オンデマンド交通の配車予約機能の提供 ● 鉄道、路線バス、フェリー、オンデマンド交通等のデジタルフリーバスの販売 ● レンタカー、レンタサイクルの予約(外部サイトへの遷移)機能の提供 		<ul style="list-style-type: none"> ● コロナの影響により公共交通利用者が激減した厳しい期間ではあったものの、3,647枚のチケットを販売し一定の利用を獲得するとともに、サービスへの高い満足度を獲得できた ● 今後も観光魅力の発信や公共交通の利用促進、デジタル活用による省力化を通じた、観光地の魅力と持続性の向上については引き続き取り組んでいきたい ● 社会実装を含め、持続可能な運営体制や収益確保に向けて、本実証実験の結果を踏まえた検討を開始したところ 	
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光施設等の位置情報や施設情報を確認できる地図機能の提供 ● 観光商品のデジタルチケットの販売 ● 観光施設、飲食店等のデジタルチケットの販売 ● 交通事業者や飲食店等の新型コロナウイルス対策情報や、観光施設等の混雑情報の配信 			
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> ● シームレスに複数交通手段利用できる交通チケットの周遊促進効果の検証 ● 観光商品の充実による、伊豆への来訪目的創出を通じた誘客効果の検証 ● 「Izuko」のUI改善と機能拡充によるサービス満足度向上効果の検証 ● オンデマンド交通の宿泊施設停車による送迎車両代替効果の検証 ● 交通・観光事業者への利用データ共有による、データ活用機会の向上効果検証 			